

ま え が き

ここに、昭和49年度における本県教育行政・教育諸活動全般にわたって、その概要を収録した「教育年報」を刊行致します。

昨年度は、総需要抑制という財政的に極めて厳しい年でありましたが、県教育委員会においては、これに適切に対処しながら「豊かな人間形成をめざす生がい教育」の実現のため、「特殊教育の拡充」・「社会教育施設設備の整備促進」など、26項目の重点施策を設定し、その達成のために努力して参りました。

その結果、第2次福島県長期総合教育計画の策定準備をはじめとして、県立小名浜水産高校新練習船（福島丸）の建造、在宅心身障害児巡回訪問指導員の新設、県立西郷養護学校の新設、福島県海浜青年の家の着工、国立少年自然の家の設置協力事業、派遣社会教育主事の新設、県総合運動公園の用地調査事業、文化財パトロール事業の新設、人間ドックの大幅増員など、各領域で期待どおりの実績をあげることができました。

本誌は、こうした教育行政の成果を記録した将来に残る公的な資料であります。本書が、過去一年間の反省資料となり、更に今後の本県教育の向上発展に役だてただけは幸いと存じます。

この年報の執筆・編集に当たられたかたの労に対し謝意を表し、昭和49年度版発刊のあいさつと致します。

昭和50年9月30日

福島県教育委員会教育長

三本杉 國 雄